

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからの飢餓」に応える活動をしています。

## パキスタン洪水被災者支援 緊急募金にご協力を!

ハンガーゼロは、洪水により3,300万人以上が被災しているパキスタンの人々への緊急支援に取り組んでいます。6月のモンスーンの影響で国土の3分の1が被害を受け、100万軒を超える家屋が損壊されました。今も多くの人々が命の危険にさらされています。

ハンガーゼロは、すでに現地ですら緊急支援を実施しているKFHI(韓国国際飢餓対策機構)に協力するため「パキスタン洪水緊急募金」を受付けています。KFHIは被災直後から大きな被害が出ているシンド州サングハーでまず約3千人(500世帯)に対して、食料や蚊帳などの緊急支援キットなど



の配布、その後も必要な支援を続けています。現地では、洪水による感染症や伝染病による二次被害も懸念されています。

### 【緊急支援募金の送金方法】

郵便振替又はウェブサイトからクレジットカード決済を利用。

●WEB <https://www.jifh.org>

※クレジットカード又はコンビニでの決済

●郵便振替 00170-9-68590

日本国際飢餓対策機構 ※記入欄に「パキスタン洪水緊急募金」と明記

### お申し込み:

(株)キングダムビジネス  
スマートフォンは右のQRコードから



電話注文: 06-6755-4877

## ハンガーゼロ・アンバサダー 増田喜治氏からのお知らせ

「ウクライナの学校支援でお宝のSPレコードを放出!」

一世紀前のレコードを眺めて、100年後のウクライナと世界の平和に想いをさせる、すてきな「ピースロック」です。



募金2万円以上でプレゼントします! HMVとEdison Diamond Diskの2種類あり(レコード演奏の動画付き) お問合せ、お申込みはメールで増田までお願いします。actdifferent@gmail.com

## フィリピン短期チャイルドサポーター募集



Child Supporter  
チャイルドサポーター

フィリピンのビコール地区スラ・マトノグは、2025年5月末に貧困からの「卒業」を迎えるためチャイルドの支援も終了します。事務局では、地区の卒業までの間、まだサポーターさんのいないチャイルドを応援する「短期チャイルドサポーター」さんを募集します! 支援期間は、1~2年半です。

- チャイルドの対象年齢: 5~17歳
- サポーターを待っているチャイルド: 55名
- お申し込みはホームページ又は電話にて  
事務局Tel: 072-920-2226で受付けています。

## サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

氏名	フリガナ
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL389号

<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月( )円 □ (1□1,000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月( )円 □ (1□500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落し申込書を送ってください。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落し申込書を送ってください。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務局までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在... **5279**名

## フィリピンから手作りの クリスマスカードセット

かわいい手作りクリスマスカードです。フィリピンの女性や若者たちの仕事づくりにつながるカードで2枚でお米1.5kgに相当する収入になります。

おまかせ3枚セットを送料込み2,000円でお届けします。

お支払い: 後払いで以下①②

- ①銀行振り込み ②郵便振替

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構



Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>  
eメールアドレス [general@jifh.org](mailto:general@jifh.org)  
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト  
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構  
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに1,546,989ポイント(円)のご協力(24,001件)がありました。Tポイント募金で検索。  
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1  
TEL (072)920-2225 FAX (072)920-2155  
東京 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室  
TEL (03)3518-0781 FAX (03)3518-0782  
愛知 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル6F  
TEL (052)265-7101 FAX (052)265-7132  
沖縄 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 ゴンズ久米202号  
TEL (098)943-9215 FAX (098)943-9216  
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa  
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605  
TEL (510)568-4939 FAX (510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター

わたしから始める、世界が変わる

# Hunger Zero News

2022.12 No.389  
ハンガーゼロ・ニュース



## Christmas for D.R. CONGO

ハンガーゼロ  
Hunger Zero

コンゴ民主共和国

## Contents

- コンゴの人々に愛の贈り物を  
2022クリスマス募金にご協力ください。 P.2-3
- ウクライナ難民緊急支援  
森親善大使の訪問記、王ボランティアが来日 P.4-6
- 大阪マラソンのチャリティランナーさん P.7
- パキスタン洪水緊急支援の報告 P.8

写真・コンゴ民主共和国での活動(クリスマス募金 P.2-3)



1分間に17人(内12人が子ども)  
1日に2万5,000人が  
1年間では約1,000万人が  
飢えのために生命を失っています

# コンゴの人々や子どもたちに

## 愛の贈り物を届けよう

### 2022クリスマス募金

コンゴ民主共和国は世界で最も貧しい国の1つで、とくに農村部の人々は飢餓、早婚、民族紛争の問題に悩まされています。親が子どもを学校に通わせ、食べ物を提供することで、早婚のリスクを減らし安定した豊かな成人期を迎えることができます。ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ（以下HOLC）は、地方に暮らす人々が自らの手で食料を自給できるようにし、キンシャサやルブンバシなどの都市部に住む人々にも、食料を手に入れて生計を立て直すための機会を提供しています。さらに地元の家庭を励まし子どもたちを暴力犯罪や飢餓から守る活動も行っています。現在コンゴでは3つのプロジェクト（農業、給食、和解のプログラム）を実施しています。（報告：ジェロム・カセバ）

#### ①農業プロジェクト

#### この地域のポテンシャルに気づいた人々

HOLCの活動は、コンゴで2番目に大きな町ルブンバシから500キロ離れたプウェトにある1つの村（ルプア）から始まりました。

コンゴでの長年の紛争により、人々は様々なことを簡単にあきらめてしまうようになりました。この国には良い土壌や豊富な天然資源、豊かな熱帯雨林があるにも関わらず、



## Christmas for D.R. CONGO

人々は長年極度の貧困生活を送っています。多くの人々は自分たちは神に呪われ見捨てられたと思っているのです。しかし私たちHOLCのプロジェクト実践とトレーニングを通して、懸命に働き地域社会で団結することで、飢餓から脱出し村が変化していく、また自分自身とコミュニティの能力を信じて考え方を変えることが、貧困から抜け出すための最善の方法だと人々は気づき始めています。

実際、化学肥料に頼らなくても基本的なニーズを満たすのに十分な量を収穫できていることは、CAN-DO（やればできる）という新しい考え方が、人々と村を変革し、共に飢餓と闘うために前進できるようになったことを意味します。

農業プロジェクトは1つの村（ルプア村）から始まり、現在13村2千人以上が参加しています。私たちは種子や農具、貯蔵庫を提供し、地域のリーダーシップトレーニングを行っています。このプロジェクトは、地元の人々の意識を変え、働く価値観を変えています。援助による食料ではなく自分たちで家族のために食料が作られているのです。このプロジェクトは地元の自治体から、他の地域への活動の拡大を要請されるほど大きな影響を与えています。しかし、他の地域も恩恵を受けることができるようにするためには、より多くのサポートが必要です。



#### ②給食プログラム

#### 孤児院やストリートチルドレンに提供

首都キンシャサでの給食プログラムによって、孤児院の子どもたちは1日1〜2食を食べることができています。私たちのサポートに加えて孤児院では、キンシャサ郊外でキャッサバ、トウモロコシなど地元の野菜を栽培しています。育てられた野菜は子どもたちの食料となっています。孤児院のリーダーによるこの農業活動は、HOLCが地元のリーダーの自主的な取り組みの訓練を行い励ました結果、2020年に本格的に始まったものです。孤児院では昨年10袋以上のキャッサバを生産することができました。

またルブンバシの教会では、大人と子どものための日曜礼拝を通常通り行い、給食プログラムが実現されています。皆様のご支援が、コンゴの248人の子どもたちの生活に大きな変化をもたらしています。去年は、キンシャサのストリートチルドレン112人に合計10,752食、ルブンバシのストリートチルドレン136人に13,052食を提供することができました。この支援は今後も継続、拡大していきますのでぜひ応援をお願いいたします。

#### ③和解のプログラム

#### 価値観の変革により和解と平和が実現

以前にもご紹介しました和解のプログラムは、コミュニティと多くのバンツ族とピグミー族の生活に良い影響を与え続けています。3年前にプログラムが開始されたとき、バンツ族とピグミー族はまだ戦闘をしていましたがプロジェ

クトは1年後に順調に進みだし、これら2つの部族は考え方を始めました。

私たちの和解プログラムは、1つのコミュニティと90人の受益者から始まりました。彼らの多くは、互いに違いがあっても「共に生きる」ことの重要性を学び生活が大きく変わったと言っています。お互いを認め合いながら平和に暮らし、平和が生み出す価値観によって行動していくようになっているのです。

昨年からは一緒に農業を始めました。この農業活動は、彼らが家族のために食料を生産するのを助けるだけでなく、ピグミー族とバンツ族の間に平和と信頼の環境を作り出しています。

互いに戦い続け、殺し合いを続けたいと考えていた多くの人たちの間で、長い学びの後、和解と平和が実現したの



です。さらに3つの村が和解プログラム参加を決断し、協力しあって農業活動を行っています。現在はこの2部族が住む4つの村が協力して、合計1,975人の受益者がいます。協力の輪がさらに広がるように応援をお願いします。

#### クリスマス募金の方法はこちら

#### 募金目標800万円

- 郵便振替 00170-9-68590  
一般財団法人日本国際飢餓対策機構「クリスマス募金」と必ず明記
- WEBサイトからの募金  
スマホでQRコードをかざしてサイトからクレジットカードを利用  
※WEBサイトからの募金受付は12月以降になります



#### 備蓄をしながら社会貢献

世界にパンを届けよう



## 救缶鳥

Kyu-Can-Cho

皆様から回収された救缶鳥は各地に飛んでいきました！

食料が不足している、国内外の豪雨・地震等の災害被災地や、海外の飢餓地域等へ送られました。



おいさと夢をお届けします。

株式会社パン・アキモト

パンの缶詰 since 1995

〒329-3147  
栃木県那須塩原市東小屋295-4  
TEL 0287-65-3351

パン・アキモト 検索



ロングライフタウン 寝屋川公園 フィレンツェの丘

私たちロングライフグループは、ハンガーゼロの活動を応援しています。

ロングライフは1986年の創業よりケアサービスひと筋。全国に展開しています。

Health & Natural Beauty  
0120-550-294  
受付時間 9:00~18:00 年中無休  
大阪本社/〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 東京本社/〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階  
ロングライフグループ拠点:北海道/埼玉/東京/神奈川/千葉/静岡/愛知/大阪/兵庫/京都/大分/沖縄/中国(青島)/韓国/インドネシア(ジャカルタ)



ハンガーゼロ親善大使 森 祐理 (福音歌手)

## ～ウクライナ避難民支援の旅～

ブチフ小学校(避難所)にて

# 一日も早く本当の平和が来ますように

ハンガーゼロの親善大使となって16年。アフリカやアジアの国々、国内外の災害被災地など様々な場所へ行かせて頂き、歌の支援を届けてまいりました。でもこのたびの訪問地は、かつてない緊張と祈りをもって現地に向かいました。その地は、ロシアとの紛争が続くウクライナです。最初は隣国ポーランドでの支援コンサートとの予定でしたが、出発直前にウクライナを中心に歌うことになったのです。

8月14日、ハンガーゼロの田村牧師、安達スタッフ、音響技術スタッフの岡さん、私の4人のチームでポーランドへ飛びました。翌朝、ポーランド国境の町プシェミシルからウクライナに入ったとたん景色は、のどかな田園風景へと一変しました。広大なひまわり畑が広がり、戦争が起こっているとは思えない光景でした。

### 小学校の避難所で出会った子どもたち

最初のコンサートは、ウクライナ西部の町リビウにある「ブチフ小学校」の避難所です。到着した時、子どもたちはまだ寝ていました。「えっ、こんな時間なのに？」と言うと、「ユリさん、小学校ですが授業がある訳でない。子どもたちはすることがないのです」と言われ驚きました。本当なら友だちと勉強したり遊んだりしたいでしょう。知らない町に避難してきて、寂しい思いをしている子どもたち…。初めて会う日本人の歌を嬉しそうに聴いてくれた表情が忘れら

れません。そこで子どもたちのお世話をされていたロダさん、という女性がおられました。明るくて元気いっぱいの方でしたが、ご主人が兵士として戦地に行き、7月に亡くなったとのこと。「マリウポリで」と別人のように暗い表情で言われた時、「ここは戦地なのだ」と現実を突きつけられた気がしました。

そこから車で30分位走った所にある「ポリチャ小学校」の避難所でも歌いました。校内に入ると、給食室で大きな肉まんのようなものを大量に作っておられます。それは、戦地にいる兵士たちへの食料とのこと。ご婦人たちは、時に談笑しながら作っていましたが、決して戦争を認めている訳でなく、ただ兵士たちが飢えて苦しまないようにと作っておられます。戦争の中で日常を生きる厳しさを感じました。皆さんと手を取り共に歌い、最後に国歌を歌い出すと、自然に全員立ち上がり、胸に手を置いて聴かれたのです。



ポリチャ小学校(避難所)での交流の様子

彼らの国を愛する想いに胸打たれました。

### 見舞う人がいない病室を訪ねて

さらに車で2時間程の町イバノフランコフスクに移動しましたが、その途中にある病院で、爆撃で足を失ったご婦人のお見舞いをしました。庭にいた時に突然爆弾が落ちてきて、吹き飛ばされたそうです。その方も同じ病室にいるおばあさんたちも、ほとんどお見舞いに来る人はありません。別れ別れになった家族を思い、泣いておられました。



イバノフランコフスクにある「復活教会」は、教会をあげて避難民の支援をなさっています。私はつたないウクライナ語でも歌いましたが、「歌を聴いて希望が与えられた」とのご婦人の言葉に、涙があふれました。その言葉だけでも「来てよかった!」と励ましを受けました。

### 辛く悲しい別れの瞬間

翌リビウに戻り、広大な仮設住宅を訪問。4人ずつの部屋ですが、なんと2,000人待ちだそうです。狭い仮設住宅にさえ入ることができず住む所のない方々が多くおられる…。胸が痛みました。そこで出会った女性と二人の子どもが私たちの車に同乗してポーランドに移動することになりました。しかしご主人は一緒に行くことができません。国の命令で18～60歳の男性



スマートフォンでQRコードをかざせば森さんのショート動画をご覧になれます



は国外に出られないのです。目の前で抱き合い別れを惜んでいる姿を見て、こんな悲しい別れをどれほど多くの方がされているのかと、言葉が出ませんでした。

ポーランドに戻り、ワルシャワにある避難民の教会でも歌いましたが、その時には、私もチームの方々も発熱し、喉の激痛に耐えながらのご奉仕となりました。そしてコロナ陽性となり、翌日帰国予定が、ポーランドで待機となってしまったのです。

でもそれゆえに様々な体験ができ、多くのことを考えさせられました。ポーランドではコロナでも外出規制がないので、ウクライナ独立記念日の行事に参加し、祖国のために祈る数千人の人々と共に涙の祈りを捧げることができました。またワルシャワのバプテスト教会にてウクライナ語の礼拝にも出席できました。あふれる程の人々が集い、外に椅子を出してスクリーンで礼拝される人々の姿に、苦難の中で人は命がけで神を求めると痛感しました。以前、この礼拝に出席したハンガーゼロのスタッフから伺いましたが、ここではウクライナ人もロシア人も共に礼拝を捧げているそうです。悲しい戦いをしている国同士であっても、神を礼拝する中では一つ心になる…。これこそ本当の平和なのだと思われました。

この旅を通して、「平和」という言葉が違った響きで胸に迫っています。たとえ戦争はなくとも、誰にでも「心の戦い」はあります。私たちが許し合い、愛し合う中でしか平和は生まれれないのだと思います。一日も早い終戦を祈りつつ、ウクライナにそして世界に、「本当の平和」が来ますよう心から祈り続けています。

「平和をつくるものは幸いです。—聖書—」

### 【ウクライナ緊急支援募金】

募金は…①郵便振替 ②ホームページからのクレジットカード決済利用の2種類

①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構 「ウクライナ緊急支援」と明記  
②ホームページ 募金画面からクレジットカード、コンビニ決済がご利用できます。



ウクライナ難民緊急支援募金: 59,724,400円 (10月末現在) ご協力を心より感謝申し上げます。

# ウクライナ緊急支援活動報告／王ボランティアが来日



今年6月からポーランドやウクライナで緊急支援活動を続けてきた台湾国籍の王楠穎ボランティア(40)が来日し、世界食料デーなどで報告を行いました。王さんは日本企業の台湾支店勤務後、ウクライナの航空大学に在籍中にロシア軍侵攻により学びを中断、4月にウクライナで国際志願兵になりましたがほどなく除隊。その直後、ハンガーゼロが派遣していた月井サムエルさんに出会い、緊急支援活動に参加しました。王さんは母国語の他ロシア語、ウクライナ語、英語、日本語もできることから、支援活動にとっても良い貢献をしてくれています。王さんに聞きました。

## お世話になったウクライナ人を見捨てて国には戻れない

ロシアが侵攻してきた時ウクライナの人たちは、最初強い気持ちを持っていましたが、やがて無力感や絶望感を持つようになってきました。台湾の友人からは私に台湾避難用飛行機に乗るように連絡がきましたが、私は行きませんでした。このままお世話になったウクライナ人を見捨てて台湾には戻れない、今度は私が恩返しをする番、同じアジア系の支援団体があれば一緒に活動していきたいと考えていました。



### 支援活動を通じて感じたこと

避難民を支援したいという思いと裏腹にそれができない自分の力不足を痛感しました。戦闘が激しかった東部地区や地方の人々の置かれている状況は、非常に厳しいです。現地で見聞きた私自身も心的なダメージを受けました。民族として近いはずのロシア人とウクライナ人が憎しみ合う姿を目の当たりにするのは本当に悲しいことです。

### これまでの支援内容

孤児院、小学校、ウクライナやポーランドでキリスト教会が開放している避難所などに、協力団体からの寄付や現地調達した物資を月井サムエルさんと一緒に届けました。またウクライナ西部のリビウの教会からの要請で、ミサイルで片足を失くした女性を見舞いました。戦禍に巻き込ま



孤児院に食料品や子どもたちへの菓子類などを届けてきました

れてケガをした人の数がとても多く、ウクライナ政府からの彼女への支援は期待できません。そのためポーランドや日本から彼女の義足を支援できないか探っています。

私のもとには、すぐに支援が必要な人々の情報が入ってくるようになってきて、今も現地から「王さんいまだここにいますか」という連絡が来るので、早く再入国して活動を再開したいと願っています。

### これから求められる支援は

ウクライナの冬はマイナス20~30度まで冷え込むので、電気がきていない家庭には、木材、石炭の確保、また電気があるところは、燃料や冬物衣料、寝具、暖房器具、食料が必要です。オデーサ教会の船越宣教師とも協力していきたいです。



活動先でとくに困窮している貧困世帯の情報が届いたので郵便で物資を届けました

Okuda DESIGN PROJECT

貸したい時も、借りたい時も。不動産賃貸のご相談は—  
インターネットでお部屋探し。  
[www.okuda-re.co.jp](http://www.okuda-re.co.jp)

代表取締役社長 奥田 英男  
〒197-0003 東京都福生市熊川 447-9  
042(552)0102(代)

Okuda 総合不動産 有限会社オクダ商事  
総合建設 オクダ建設株式会社



来年2月26日に行われる「大阪マラソン2023」のチャリティランナーに、支援企業の八尾トーヨー住器(大阪府八尾市)さんから3名の社員の方が応募してくださいました。チャリティランナーとしてフルマラソンに挑戦されるにあたっての意気込みを皆さんから寄せていただきました。

## 子どもたちの未来のために

チャレンジします!!

### 淡島美智子さん 無謀な挑戦! でもやりがいのある挑戦です

現在勤務しております会社を通じてハンガーゼロの存在を知り、飢餓・貧困に苦しむ人々の為に様々な支援活動をされていることを知りました。

今回ハンガーゼロよりチャリティランナーとして大阪マラソンへの参加の機会をいただき、不安はありましたがチャレンジしよう!と決めました。今まで個人的に支援活動といっても、何をどのようにすればよいのか正直難しく感じておりましたが、自分が走る事で少しでも支援に繋がるのであれば、全力で頑張りたいと思っております!

3人の子どもの持つ運動好きな普通の主婦です。無謀な挑戦です!でも、やりがいのある挑戦です!頑張る姿をみて何か感じて頂けると信じます!自分自身も大きく得るものがあると信じます!そして何より、世界の子どもの笑顔が増える事を信じて完走をめざして走ります!!



淡島さん



山口さん

### 山口宣美さん 子どもの未来と生きる希望を支えるために

以前よりマラソンには興味がありましたが、なかなか実行まで至りませんでした。ハンガーゼロよりこのような機会を頂きどこまで走れるか分かりませんが走りたい、挑戦したい!と思いました。

ハンガーゼロと共に7つのチャリティテーマにある「子どもの未来を支える」「生きる希望を支える」の支援に繋がればと思います。

また私は学生時代にバレーボール部に入っていた経験を活かし大人になってからも今年で革バレーは18年、ソフトバレーは14年続けています。これからも「スポーツ・文化を支える」事にも繋がっていければと思います。宜しくお願い致します



福本さん

### 福本 響さん 私が走ることで勇気と笑顔届けたいです

私は現在の職場を通じハンガーゼロより大阪マラソンで走らせて頂ける機会を頂きました。

ハンガーゼロが飢餓の無い世界の実現を目指して活動されていることは以前から知っており今後の活動として、国内外問わず農業を通して自給率向上に貢献していきたい考えをお持ちの中で、私が走ることで少しでもその活動に貢献できればと考えております。

私は中学、高校と陸上部で短距離を主戦としておりました。正直短い距離には自信はありますが長距離は苦手、ただ一度はマラソンを走ってみたいという気持ちがどこかにありましたのでお声掛け頂いた時には、いの一にお返事させて頂きました。

私が走ることで勇気を与えられたり笑顔を届けることが少しでも出来ればいいと思いますので、自信はありませんが当日までにしっかり準備をします。完走を目指します。宜しくお願い致します!

### チャリティランナー申込者 ※登録名 11/16現在

山口宣美	HZ-KC
淡島美智子	石井博之
福本 響	西田大樹
竹森大洋	星莉々花
ハクト	ヌー

●寄附応援をお願いします  
ランナーさんは各自で最低7万円の寄附額を来年1/24までに用意する必要があります。下記の大阪マラソンの専用サイトから寄附や応援メッセージで応援ください。  
<https://osaka-marathon.syncable.biz>